

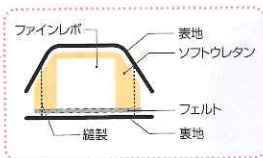
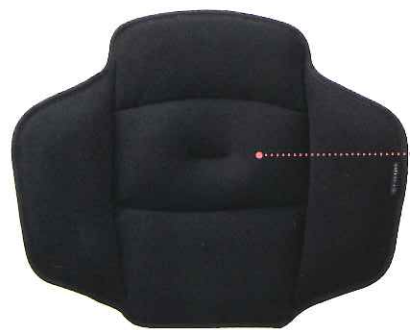
良いもの発見



ファインレボは“ぶによぶによ”した素材で、しなやかな柔軟性とクッション性があり、タテ・ヨコ・ナナメの3次元の動きで、身体の微妙な動きにもフィットする。



▲腰をサポートする位置にセット



体型の異なる人が使っても快適な姿勢を保てるように、上下を逆にすることでファインレボの当たる位置が調整できるように設計されている。

車両のシート形状を考慮したデザインにより、シートにフィットする。また、ウイング形状の両サイド部にはウレタンが内蔵されており、旋回時の身体のズレを防ぐサイドサポートの役割を果たす。

なお、類似品の多くは材質に低反発ウレタンを採用しているが、低反発ウレタンは温度によってクッション性が変化する。その点、ファインレボは温度の影響をほとんど受けないため、1年を通じて理想的な運転姿勢を保つことができ。さらに、表地に通気性に優れたハニカムニットを採用し、夏場などのムレ感の低減を図っているのも特徴だ。

サービス入庫の機会をとらえて提案販売可能な付加価値商品！

気になる価格はオープン価格。

押し上げ、骨盤を起こす動きをすることで、理想的な運転姿勢を保つことができる。当然、骨盤を起こすために指圧すべき腰椎の位置は人によって異なる。そのため、上下を逆にすることでファインレボの当たる位置が調整できるように設計されている。また、ウイング形状の両サイド部にはウレタンが内蔵されており、旋回時の身体のズレを防ぐサイドサポートの役割を果たす。

ただし、実勢価格が4000〜5000円の製品が売れ筋を占める自動車用クッション市場においては、高額商品に分類される。そのため、同社によれば「流通事業者から『価格が高い』と指摘されることが少なくない」そうだ。しかし、筆者は今回の記事作成に当たって「東京・大阪の日帰り往復ドライブ」を敢行し、コンパクトクッションを実際に使ってみた。ファインレボがしっかり腰を支え、それによって姿勢が安定することが実感できた。これまでも低反発クッションを腰に当てて、楽な姿勢を保つように留意していたが、「それが無意味だったと思えるほど快適であった」というのが正直な感想だ。

これだけの価値を備えているのだから、高額商品に分類されるのは当然だ。ロングドライブの機会が多いお客様や、腰痛を抱えるお客様なら「安い」と感じるのではないだろうか。

車検などの入庫の機会をとらえて提案することで、お客様に喜んでいただき、単価アップが図れる付加価値商品として要注目だ。

今月の「良いもの発見」コーナーでは、アイシン精機の「コンフォートクッション」を紹介する。寝具用のノンスプリングクッション素材として開発された「ファインレボ」を採用することで、楽な姿勢を保ち、運転時の疲労を軽減する優れたものである。

質の高い眠りの追求から生まれたクッション素材

同社は、自動車部品メーカーとして培った技術力を活かし、1966年より「理想の睡眠環境」を追求している。その一環として、2006年に「ASLEEP」ブランドを設立し、「質の高い眠り」を追求した高品質な寝具の提供を通じて、活力あるライフスタイルの提案に努めている。

ファインレボは、質の高い眠りを実現するために開発された、コイルスプリングに代わるマットレス用のクッション素材である。

質の高い眠りのためには「自然な寝姿勢」が欠かせない。自然な寝姿勢とは、背筋が立っている時とほぼ同じまっすぐな状態を指す。マットレスが軟らかすぎると身体が沈み込みすぎ、硬すぎると背骨

「質の高い眠り」の追求から派生した快適用品！！

アイシン精機の

コンフォートクッション

ファインレボが腰椎を指圧し、骨盤をしっかり支持
理想的な運転姿勢でロングドライブの疲労を軽減

が反って緊張してしまふ。また硬すぎるマットレスは、身体の一部に圧力が集中し、血行不良となって、痛みやコリを引き起こす。その点、ファインレボはしなやかな柔軟性とクッション性があり、タテ・ヨコ・ナナメの3次元の動きで、身体の微妙な動きにもフィットし、質の高い眠りをサポートする。

理想的な運転姿勢を保つ力には「骨盤を起こしてあげる」こと

運転時の疲労は、着座姿勢によって軽減することもあれば、増大することもある。

理想的な運転姿勢のポイントには「骨盤の状態」に尽きる。着座時に骨盤が寝た状態だと、上半身が不安定になり、腰に負担がかかるなど疲れやすくなる。逆に骨盤が起きた状態だと、立位時と同じ姿勢（「背骨がS字カーブを描いている状態」）になり、上半身が安定し、腰に負担がかかりにくくなる。

一見、サイドサポートが大きく張り出して窮屈そうなスポーツシートが、「一度使ったらノーマルのシートには戻れない」と言われるのは、サイドサポートなどによって身体をしっかりホールドし、理想的な運転姿勢を維持し続けることができるためだ。

決して、ノーマルシートが「疲れやすいシート」というわけではない。サイドサポートを強化すれば乗降性が犠牲になりかねないし、車両に標準装備されるシートには座り心地だけでなく、デザイン性や機能性も求められる。そのため、ノーマルシートは総合点で評価するのが妥当で、「100点満点の座り心地」を求めるのは酷と言えるだろう。

ファインレボが腰椎を指圧！だからロングドライブも楽チン

そんなノーマルシートの座り心地を高めるために開発されたのが、今回紹介するコンフォートクッションである。

シートバックにぴったり収まる形状になっており、シートバックに立てかけて使用する。座った時にちょうど腰に当たる位置にファインレボが内蔵されており、腰椎を